



発行
KOA 森林塾
(事務局)
0265-70-7065
編集 坂野慎治
題字 島崎洋路

集中コース 夏の部開催報告 『森へかようために』

例年より遅い梅雨明け直後の、連日三十度を越す気温のなかでの開催となった三日間の集中コース夏の部。今回は、中京圏から三名の方々が参加してくれました。自己紹介の後、「それでは

これからチェーンソーを使います」という事務局に促されて、いきなりの輪切り・玉切り。下刃(腹側)で伐り下ろし、上刃(背側)で伐り上げ、橋渡し状の材を回し伐る。かと思つくと、見慣れな

い輪尺や直径巻尺やワイゼ測高器での測樹。胸の高さで直径を、梢を探して樹高を測つたら、切り株の年輪を数えてと。そして、小屋で一息ついたら、今度は林学の講座だなんて：。初日から許容量を超えてしまいそんな相対幹距比に、地位指数、林分形状比ですって：。さらに、メインメニューはこれからとばか

り、二日目・三日目は、伐倒・枝払い・造材・集材と続いた、アツという間の三日間。でしたが、森の状態で調査・把握し、将来を考えて施業の計画を立て、残す木を決めて間伐を行い、伐つた材は利用するために集めて出す。という、流れのなかで、「何か」を一つでも持ち帰って頂けたでしょうか。森林塾は「何か」を提供できたでしょうか。

間伐や集材をする機会はありませんが、近頃の山に出かけるときには、ポケットに地位指数曲線図を忍ばせて、込み具合を調べられそうなのころがあったら、一歩五センチで十歩、五メートル四方で二十五mの簡易プロットを設定してみても如何でしょうか。その中に立つ木の本数、それぞれの木を胸の高さで、両手を輪尺代わりに木に当てて太さを予測し、梢の見える木を探して樹高を

推し量り、林齢を仮定してみる。高さとおさのバランスが形状比。ヘクター当たりの本数を計算し、一本の木が占める面積がわかれば、その平方根が樹幹距離となり、高さとおさでSr。地位指数曲線図で将来の樹高予想。そんな健康診断でも、おおよその状態がわかるかもしれません。そして、自分ならこの木を残してみようと考え、間伐をしたら、この道に寄せ集めてみようか、と思ひ描く：。忘れてしまったことや疑問質問など、お気軽にご連絡ください。そして、これからも何らかの形でお付き合いをさせて頂ければ幸いです。



輪切りで始めるチェーンソー



根元は・・・どのあたり？

根元は・・・どのあたり？



受け口・つる・追い口の関係



一本の樹が占める面積からSr



今回の内容
集中コース 夏の部

8月3～5日

(木・土)

3日(木)

9時

鳥崎先生の山小屋に集合。事務局の挨拶と日程説明。早川講師の林業や森林の現況についてや森林整備の必要性の講義。塾生の方々の自己紹介やオリエンテーション。

9時45分

現場へ移動して、早川講師から、チェーンソーの構造や始動方法、取扱時の

11時35分

注意事項の説明を受ける。その後、各人がチェーンソーの始動、丸太伐りを行う。下刃(腹刃)で伐り下げ、上刃(背刃)で伐り上げ、そして回し伐り。橋渡し材の伐り方などの玉切りを行いました。

12時5分

丸太伐りを終了し、早川講師による伐倒方法の説明と短材を使った模擬実践。

13時

小室へ戻って、公園の東屋にて昼食。森林調査についての早川講師の講義。その目的や測樹の方法。林分形状比

13時50分

や相対幹距比といった指数について。

15時10分

現場のヒノキ林へ移動して測樹開始。10m x 10mのプロット調査。その中の全ての木の太さを直径巻尺と輪尺で測り、樹高は選抜した数本についてワイゼ測高器で測定。林齢は、切り株の年輪を数えて。

18時15分

小室へ戻って休憩をとった後、データ整理。現状の地位指数と相対幹距比、林分形状比を求める。地位指数は樹種と林齢と上層樹高から。相対幹距比

16時45分

はヘクター当たり本数と上層樹高から。林分形状比は平均直径と平均樹高から。調査結果は、林齢33年、上層樹高17m、ヘクター当たり本数800本となり、地位指数は19、相対幹距比は21、林分形状比は72という現状。

18時15分

講師講評後、終了。交流会開始。バーベキューにビール。焼きそばが登場する頃には...

4日(金)

9時

鳥崎先生の山小屋に集合。日程説明のあと、早川講師から指標の説明や施業方針の策定について講義を受け、今回の施業計画を60年生時にSr20とする。そうすると保残木の本数は...

9時30分

調査プロットにて保残木をマーキング。形質を見たり、配置を考慮したり、悩ましい。

10時15分

小室へ戻り休憩。

10時30分

小室横のアカマツ・ヒノキ林へ移動して、いよいよ伐倒開始。幹の傾きや枝張り、隣り合う木の状態から伐倒方向を見定め、チョークで受け口・追い口の設計図を書く。

15時

山口さんが、伐倒準備で灌木を伐り払って足にけが、病院へ。

15時30分

伐倒を終了し、小屋へ戻ってメンテナンス。エアクリーナーの掃除の時は、チョーク状態で。力

13時25分

伐倒を再開。再開一本目がかかり木になるも、ロープを投げかけて皆で引っ張り倒す。これも良い経験ということで。大汗をかいたので、暫し休憩をとってから次の伐倒へかかる。もちろん、枝払いや造材もやってみました。

12時25分

小室へ戻り昼食。



木を挟むと、ここの数字が



30度・水平・一方通行



角度と方向と



伐倒の設計図

バーをはずして、バーとソーチエーンを分離。掃除をして組み立てたら目立てです。ソーチエーンに合ったヤスリの確認を忘れずに。森林塾のものは4ミリの丸ヤスリ。30度・まっすぐ・水平・一方通行。そして、どの刃も同じ回数つつ研ぐ。

16時30分
講師講評のあと、終了、解散。

5日(土)
8時40分

島崎先生の山小屋へ集合。今日は、日程を変更し、二班に分かれて作業することとしました。

8時50分

現場班は、昨日の現場での伐倒。立ち位置やチェーンソーの位置を確認しつつの作業。枝払いには梢に向かって左側に立ち、主に背伐りで。造材は、傾斜の上に立ち、木の動きをよく見ながら。一方、小屋組は、チェーンソーのメンテナンスや森林診断の復習、ロープのアイ加工をやってみました。

12時5分

小屋にて昼食。

13時15分

現場班は、寄せて集めて簡単ウィンチ、ひっぱりだこの集材。赤い帽子に玉

切り材を入れて集めました。小屋組は、ひきつづきロープのアイ加工。口差しが・・・

14時30分

現場班、作業を終了し、小屋へ。三日間の感想をお聞きして、

15時

講師総括の後、終了、解散。お疲れ様でした。

参加者/後藤さん、山口さん、吉岡さん

講師/早川講師
スタッフ/坂野

次回以降の予定

第七・八回

8月25・26日(金・土)

間伐

特別講師の島崎先生による保残木マーク法の間伐。調査、伐倒の一連を行う予定です。また、前回できなかったチェーンソーのメンテナンスも行う予定です。
現場は、植林・下草刈りをしたところをさらに車で五



分ほど南に行ったヒノキ林を予定しています。

8時30分、島崎先生の山小屋に集合。初日の朝に、ミス水鋼機さんが見えになります。また、初日夕方からはバーベキューで一杯、暑気払いをしましょう。会費は千円程度の予定です。

なお二日目の26日(土)は、鳩吹公園で「まほら伊那地球元気村」というイベントが開催されますので、一番下の未舗装駐車場をご利用願います。

第九・十回

9月15・16日(金・土)

伐出

伐つて出し。伐るは間伐。出すは、ウィンチで、林内作業車で、材を寄せ、集め、運ぶ。それぞれの機械の特徴をつかみ、集材を考慮した伐倒にも挑戦して頂ければと思っています。

現場は、間伐の場所と小屋横の伐木造材で伐倒をしたところの二ヶ所を予定しています。

8時30分、島崎先生の山小屋に集合。マイ装備・マイ道具、ご持参下さい。



やま・もり 豆知識

山仕事の装備

山仕事における装備は、その仕事の内容によってまちまちですが、今回は間伐等における基本的な格好について話してみたいと思います。

ヘルメット



厚生労働省規格で、A(飛来・落下物用)、B(墜落時用)、E(電気用)という分類があります。山仕事では二種兼用のABで十分です。値段は二千円。ひび割れや変形があればすぐ交換してください。これに耳保護のイヤーマフと目を保護するメッシュのフェイスマスクがつけば言う事なしです。この三点セットで八千円くらいから。

地下足袋、脚絆

山林用の地下足袋は刈り残しのササなどを踏み抜かないように底のゴムが厚くなっています。三枚コハゼなら千五百円。ズボンの裾を留める脚絆も千五百円。ともにコハゼが多い長物もありますので、お好みに合わせて選んで下さい。傾斜地などすべりやすい

い所での作業ならスパイク地下足袋がおすす



めです。四枚コハゼ四千円。コハゼが七枚や十枚の長物もあります。玉切りなどの時につま先が心配という方には、安全靴タイプのものもあります。

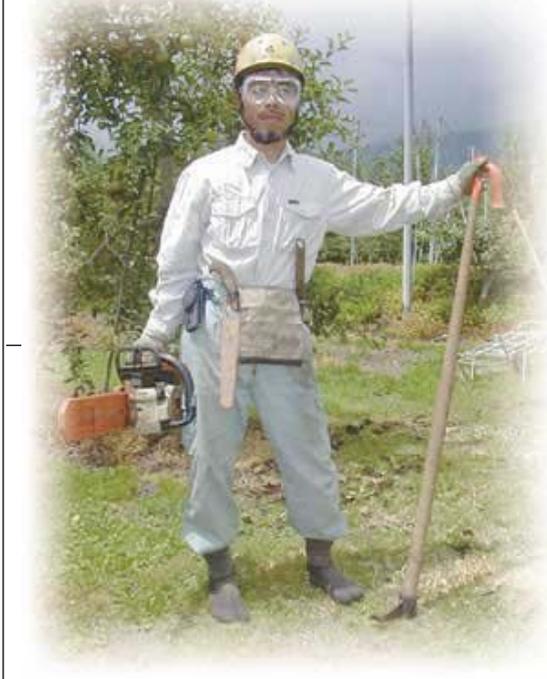
保護ズボン

チェーンソーは高速で回転して木を切る道具です。ポランティアの仕事といえど、今チェーンソーは欠かせない道具になりつつあります。でも万が一、回転しているソーチエーンが足に当たったら重大な事故に。切断事故防止のための保護ズボンがチャブスがあればまず安

心です。ソーチエーンが当たった瞬間に、中の繊維がスプロケットに絡みつき、瞬時にソーチエーンが回転を止める仕組みになっています。一万五千円くらいから。

皮手袋

軍手で用が足りる場合も多いのですが、カラマツの伐倒には皮手袋でないとならない方は構いませんが。あと、イヌザンショウやタラノキ、木いちご類と格闘するときにも必需品ですし、ワイヤーを使う仕事の時には是非欲しい。牛でもオーストリッチでも、豚でも皮であればなんでも構いません。安い物は二百円くらいからあります。



リレー通信

樹齢千年の檜を育てたい 小池 泰彦



愛知県から参加させていた
だいている小池です。子供の
頃からなんとなく山が好き
で、徐々に色々な山に登り、
趣味というより生活の一部と
して山に登っていた時期も
あったほどで、いつかは山に
関わる仕事をしたいと思っ
ていました。

す。しかし、山を想い、あり
がたいと感じていながら、山
に登り終えれば、はいそれま
でとばかりにひたすら山を
下りて温泉につかって帰途
につくといふことで、どうも
身勝手な山好きであったよ
うに思います。

新鮮に沢山目に入
るようになり、今
までの自分は何
だったのかと反省
せざるを得ませ
ん。今は自分の年
齢からしても今を
おいては山の役に
立てないと感じ、
できるだけ早い時
期に山の仕事に携
わりたいと考えて

自分の人生の多くは工業
化社会の一翼を担う仕事を
ひたすらやって来たわけで、
いまさら二酸化炭素の排出
量を抑えるべきだなどと言
うのはおこがまし、身勝手
だとは思いますが、それでも
やはり森林の光合成だけで
地球温暖化の一原因である
二酸化炭素を十分に固定化
できるわけではなく、二酸化
炭素の排出量そのものを抑
えなければ環境問題の解決
には程遠く、ましてや二酸化
炭素の排出権を金にまかせ
て買つとか、海外で植林した
ら自分の責任は果たしたと
いうような姑息な考えは捨
てるべきで、環境問題とバラ
ンスの取れた森林の健全な
経営によってこの国のある
べき姿を考えていくべきと
思い行動したく思います。

い仕事にこそすばらしさが
あるという自分の想いを
知ってもらいたかったから
でもあります。

世界最古の木造建築物の
法隆寺の塔の柱は調べると
樹齢千年から二千年の檜と
のことで伐採されて加工さ
れ、それからまた現在まで千
三百年の間法隆寺を支え続
けてきたわけでその強度は
ほとんど変りなく、昭和の大
修理の時に宮大工の西岡棟
梁が柱を削つたらヒノキの
香りが漂つたというのには有
名な話ですが、千年以上前に
伐採された木が尚その特性
を保ち続け、塔の屋台骨を支
えているというのは想像を
絶するところで、木には神が
宿っているというのも過言
ではないように思います。そ
してそれは建立当時の人々
や、斑鳩の里に直結し、思い
をはせることになりロマン
あふれる話であると同時に
現実的な問題として考えた
ら千三百年もの間建ち続け
ている事実はものを大切に
使うための知恵を昔から日
本人は沢山持っていたとい
う嬉しい話でもあります。そ
んなことを取りとめも無く



考えると今この森林塾で皆
の心を結び付けている木や
森というものがとてつもの
大きな存在に思えてきま
す。そんな悠久の仕事に関わ
る可能性のある木、そして森
を育てる一翼を担うことが
できればすばらしいことだ
とも思い、できるものなら今
は日本にはないという樹齢
千年になるような檜の森を
夢見て山を造ってみたい思
います。そしてその結果は神
様のみがご存知になります。

コラム

今年はどういうわけか、我
が家には大きなヒキガエル
が三匹。捕まえたり、もち
たり。それもいずれも十セ
ンチクラスの大物。図鑑で調べ
てみると、正式名は「アズマ
ヒキガエル」というらしいの
ですが、いわゆる、ガマの油
売りのガマです。このカエル
はとも長生きするらしく、
三十年位は生きるそうです。
なるほど、その貴族、大きさ、
動き、皮膚の感じなど、それ
に近い年はとっていそう
です。

生きて虫などしか食べな
いらしく、飼育は難しいとの
ことで逃がしてやりました
が、それにしても、昔は踏ん
で歩けるほどたくさんいた
カエル。近頃はすっかり少な
くなってあまり姿を見なく



なっていたので、まだこのよ
うな大物が生きていたかと
思うとうれしくなりました。
カエルのような両生類は環
境悪化の影響をまっさきに
受けるそうなので、こうい
う生き物がたくさん生きられ
る環境であって欲しいと願
うばかりです。

おわりに

「イントラ川島」
伊那では、八月に入つてか
ら雨が降らず、作物はもちろ
ん、秋のきのこも心配な今日
この頃です。

投稿大歓迎。ご意見、ご質
問、ご要望、事務局まで。

TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994



E-mail:
sh-sakano@koanet.co.jp
ki-hayakawa@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp